



受章は「支えてくれた方々のおかげ」と話す小澤さん

# 秋の叙勲 瑞宝単光章

## へき地保健衛生功勞

平成20年秋の叙勲で、町内から小澤しづさん（85）川向が「へき地保健衛生功勞」で「瑞宝単光章」を受章し、11月4日、知事公館で伝達式が行われました。小澤さんは宮城県白石市で生まれ、岩手県が保健婦養成所を開設したのを知り、へき地医療に興味があったため第1期生として入所し、大船渡市赤崎村の保健師と

して4年務めたあと、昭和28年に本町の保健婦となり、その後23年間、保健衛生生活に貢献し、昭和46年から5年間は保健婦長を務めました。「町へ来た当時は役場のトラックで山深い集落まで送られ、自転車で移動しては先々で寝泊りする生活でした」と話し、無医地区を担当し助産師でもあった

め乳児死亡ゼロを目指し、昼夜を問わずお産に立会い、1000人近い子どもの誕生に携わったが、一人も亡くならなかったのは神様のおかげ、今でも感謝しています」と話していました。昭和30年代までは、結核が猛威を振るっていましたが、小澤さんは検診で未然に防止しようと普及啓発に尽力しました。その結果、受診率は9割以上に向上し、町は昭和35年に結核対策優良自治体として財団法人結核予防協会総裁賞を受賞しました。退職後は、高齢者が集う「お茶飲み会」を開催し、最後の時まで楽しく生きましようと呼び掛けています。とにかく命を支えたいと思っ

て活動しています」と現在でも精力的に地域の保健活動に取り組んでいます。

**統計功勞**

遠藤 純 睦さん  
77歳・子飼沢

昭和35年に国勢調査に従事して以来、今日まで48年の永きにわたり統計調査員として各種統計調査に携わり、精度の高い調査票づくりに努めるとともに統計思想の普及に尽力された。

**統計功勞**

岡野 與一郎さん  
83歳・山脈地

昭和36年に岩手県農林業統計調査に従事して以来、今日まで47年の永きにわたり統計調査員として各種統計調査に携わり、精度の高い調査票づくりに努めるとともに統計思想の普及に尽力された。

**教育功勞**

水 沼 和 子さん  
72歳・中上

平成10年1月から平成20年9月まで教育長及び教育委員長として教育環境の整備並びに中山間地域の中高等教育のあり方について県に提言するなど、本町教育の振興発展に尽力された。

**産業功勞**

佐々木 章 七さん  
76歳・山脈地

平成5年7月から平成20年7月までの5期15年の永きにわたり農業委員会委員として、地域農業の持続的発展のため適正な農地行政に努めるとともに本町の農業振興に尽力された。

# 町の振興発展への 多大な功績をたたえ 表彰状・感謝状の贈呈

11月21日、町勢功勞者表彰式がグリーンベル高勲で行われました。表彰式には、受賞者7人のほか、町顧問や町議会議員など約40人が出席し、多田欣一町長が一人ひとりに森林認証材の表彰状・感謝状と記念品を贈呈し、これまで功績と活動を紹介し、感謝の言葉を述べました。受賞者を代表して遠藤純睦さんが「少しでも世の中のためになれるよう、今後も年齢に応じた勤めに励みたい」と感謝の言葉を述べました。

**感謝状**

佐藤 マツエさん  
73歳・高瀬

平成8年5月から平成20年5月まで3期12年にわたり選挙管理委員会委員として、公正的確な選挙執行に努めるとともに明るい選挙の実現に尽力された。

**感謝状**

水野 徳 司さん  
70歳・二反田

平成8年7月から平成20年10月まで4期12年にわたり固定資産評価審査委員会委員として、公平厳正な審査会の運営に尽力された。

**感謝状**

紺野 文 夫さん  
74歳・奥新切

平成11年7月から平成20年7月まで3期9年にわたり農業委員会委員として、本町の農地行政及び農業振興に尽力された。

## 住民と議員の懇談会

11月5日から27日まで町内16ヶ所で「住民と議員の懇談会」が行われました。この懇談会は町議会が主催し、地域の意見や提言を町政に反映させ、地域の課題解決や議会の活性化を図ることを目的に毎年行われているものです。7日は、愛宕公民館と曙公民館を会場に行われ、愛宕公民館では地域の人たちが20人が出席しました。出席議員から町の状況や町づくりについて話題提供をすると、出席者から「地区別計画で行っている世田米の町づくりは人口や地域が多く、ひとつにまとめるのが難しい」と現状について意見が出されました。また、自立を目指している中で、今後の財源不足は使用料などの値上げで対応ということになってくるのか」など、合併についての質問や意見が活発に出されました。

出席議員は、地域の声を町政や地域の課題解決に反映させていこうと、メモを取りながら真剣に話を聞きました。



活発な意見交換が行われる